

石岡市  
平成24年度

広報 いしおか

24年 4月1日号

別冊

# 予算特集

## 目次

- 市政運営の基本的な考え P1
- リーディングプロジェクト P2
- 一般会計 P6
- 特別会計 P8

市長就任から約3年の間、私は次の世代に誇りを持って引き継げる石岡市の創造を目指してきました。厳しい財政状況の下、事業の選択にあたっては優先順位の高い事業を市民の皆様へ明示し、財源の集中を図って迅速に事業に取り組むことにより、一定の成果を挙げることができたと考えております。

しかし、昨年3月11日の東日本大震災においては、市の初動体制の不備や対応の未熟さから情報の伝達が遅れ、市民の皆様にご不安を与えてしまいました。早速、発災時における初動マニュアルを見直し、機動力ある体制を整えましたが、震災への対応はそれにとどまりません。今回の震災を通じて、私たちは不測の事態に備えることの大切さを痛感するとともに、どのような災害にも負けない、「安全・安心」なまちづくりへの決意を新たにしたいと考えています。

一方、市民の皆様の間には、震災直後の混乱の中でも、助け合い協力し合って困難を乗り越えようという自治力の発揮が多く見られ、行政として大いに勇気をいただきました。

## 市政運営の基本的な考え

石岡市長 久保田 健一郎

地域が一体となり、絆を深め合いながら自らの役割を担う、このような「共生・協働」は、私たち行政が市民の皆様と強めていかなければならない関係でもあります。

本市の施策が、震災後の「復旧」から本格的な「復興」へと移行する中、私は今後、石岡をさらなる高みへと飛躍させるため、地域の特性を最大限に活かした、存在感のある、石岡ならではの魅力あるまちづくりを進めてまいります。

このたび策定した将来構想「石岡かがやきビジョン」では、「誰もがいきいきと暮らし輝くまちいしおか」を将来像に掲げました。「快適な住環境による安全・安心なまちづくり」と「市民とのパートナーシップ推進による共生・協働のまちづくり」とを推進しながら、様々な施策によって市の魅力を一層輝かせ、誰もが「石岡が大好き」と言えるようなまちづくりを実現してまいります。

「石岡かがやきビジョン」の概要版は、広報いしおか5月1日号の折り込みでお知らせします。

# リーディングプロジェクト

## 市の魅力を一層輝かせるための施策

私は昨年、市民の皆様の声と現状分析によって事業を精査し、重点的に取り組む「リーディングプロジェクト」を創設し、大きな効果を挙げることができました。今年度は、プロジェクトの内容を再度見直し、9つのプロジェクトと1つの共通テーマによって、まちづくりを推進することとしました。

### 子育て応援プロジェクト



子育て支援センター

子どもの健康維持や子育てに要する費用の支援を引き続き実施するほか、「予防接種事業」

では、今までの子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌に加え、新たに水痘・おたふくかぜの接種費用助成を行います。

また、「医療福祉費単独事業」を実施し、小学4年生から中学生の入院にかかる保険診療の一部自己負担額を助成するとともに、小学4年生から6年生までの第3子以降の児童を対象に、入院の他、外来・調剤にかかる医療費についても助成して、子育て世代の負担軽減を図ります。

さらに、育児不安などに対して相談指導などを実施する地域子育て支援センターを増設す

ることで、きめ細かな育児支援を行います。

### 事業名・財源など

予防接種事業	1億56万円
市の支出	5568万円
県の補助	4488万円
医療福祉費単独事業	446万円
市の支出	436万円
その他	10万円
地域子育て支援センター	3700万円
市の支出	1850万円
国の補助	1850万円



### 教育環境充実プロジェクト



八郷中学校完成予想図

業」では、近年の猛暑への対策として小学校図書室へ空調設備を整備し、児童・生徒の学習環境を改善して教育環境の充実を図ります。なお、今後は学校施設耐震化に併せ、小中学校への空調設備導入を計画的に実施していきます。



児童・生徒が、いきいきと学べる創意と活力に満ちた学校づくりに取り組むとともに、耐震補強事業を進め、教育環境の向上を図ります。

現在、整備を進めている「八郷中学校建設事業」は、平成25年4月の開校に向け、校舎建設のほか、武道場の建設を進めます。

また「小中学校空調整備事業

### 事業名・財源など

八郷中学校建設事業	13億5918万円
市の支出	9億6833万円
(うち市債8億7910万円)	
※市債の一部は、後年に国から地方交付税で措置されます。	
国の補助	3億9085万円
小中学校空調整備事業	450万円
市の支出	450万円



企業誘致プロジェクト

本市は、都心から70キロ圏に位置し、交通基盤も充実しています。この立地を広くPRするとともに、新たな国の制度の活用や万全のサポート体制によって、引き続き企業誘致に努めます。また今年度は、スマートICから半径1キロ圏内に物流基

地が設置可能となる規制緩和にも取り組みます。

「就職支援事業」では、ハローワーク石岡管内の企業と学卒者などを対象に就職相談会や面接会を開催し、参加企業のPR活動と雇用機会の充実を図ります。

事業名・財源など

充実した優遇制度

- ・ 固定資産税と都市計画税の3年間免除
- ・ 法人事業税（3年間）と不動産取得税の課税免除（県実施事業）
- ・ 市民を従業員として5人以上雇用すると1人につき10万円／年を最大3年間補助（中小企業は3人）
- ・ 工場立地法に基づく環境施設・緑地面積率の緩和

企業活動への支援

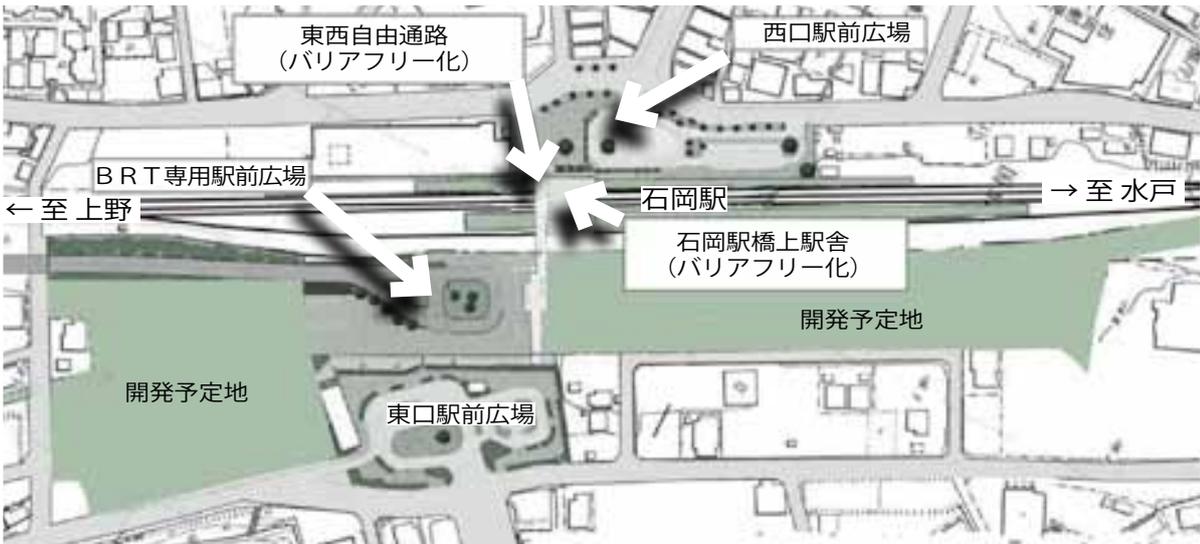
- ・ 企業情報発信・求人情報提供をサポート
- ・ 各種法令への対応をワンストップサービス

就職支援事業

市の支出 59万円

59万円

中心市街地活性化プロジェクト



中心市街地の活性化を実現するため、平成21年末に内閣府から認定を得た「石岡市中心市街地活性化基本計画」に基づき事業の推進、強化に努める一方、「石岡駅周辺整備事業」によってJR石岡駅に東西自由通路と橋上駅舎を整備し、駅東西の利便性向上と人の流れの活性化を図ります。また、西口駅前広場やBRT専用駅前広場などの整備、交差点の改良などを実施し、交通の円滑化と安全性の向上、公共交通機関の利便性向上を図ります。

「中心市街地活性化事業」では、中心市街地の魅力・活力を生み出すため、区域内への新規出店者などに支援を行うほか、まちづくり市民セミナーを開催し、活性化に向けた人材のスキルアップなどを促進して、さらなる取り組みへの機運醸成を図ります。

「中心市街地活性化事業」では、中心市街地の魅力・活力を生み出すため、区域内への新規出店者などに支援を行うほか、まちづくり市民セミナーを開催し、活性化に向けた人材のスキルアップなどを促進して、さらなる取り組みへの機運醸成を図ります。

事業名・財源など

石岡駅周辺整備事業

3億2077万円

市の支出 1億7677万円

（うち市債1億5840万円）

※市債の一部は、後年に国から地方交付税で措置されます。

国の補助 1億4400万円

中心市街地活性化事業

3250万円

市の支出 2664万円

国の補助 586万円



## 自然の恵みを活かした 農林業プロジェクト

首都圏でも評価の高い本市農産物の販路拡大を図るため、県内はもちろん、首都圏などの県外でも展示即売会を行い、生産物の流通促進と加工によるブランド化を進めます。

また、就農人口の減少は地域社会の活力低下など、地域に及ぼす影響が大きいことから、「新規就農者支援対策」として、関係機関と連携して新規就農(林)者の募集を行うとともに、就農(林)から定住までのサポート体制を整備するなど、若い世代に魅力を提供できる、就農(林)しやすい環境づくりに取り組みます。



米粉を使ったパンの試作品

「農力アップ推進事業」では、パン用小麦「ゆめかおり」や米粉によるパンやスイーツの商品化と販売を行うとともに、小麦・米粉の生産拡大に合わせて学校給食や菓子店などでの活用を促進します。

### 事業名・財源など

農力アップ推進事業	338万円
市の支出	338万円
新規就農者支援対策経費	25万円
市の支出	25万円

### 高齢者いきいきプロジェクト

県内でも高齢化率が高い本市においては、高齢者が培ってきた豊かな知識や経験を、地域社会の活性化につなげていく視点が重要です。本市では、体を動かすことによる健康増進の大切さをPRし、参加の機会を設けるために「ウォーキング大会」を開催するほか、高齢者の方々が気軽に楽しめるニュースポーツの環境整備を行います。また



健康福祉スポーツ大会

「高齢者を対象としたスポーツイベント」を開催して人との交流を通じた社会参加を促進するほか、シルバリーハビリ体操の普及に取り組むことで、介護予防活動の推進と交流機会の拡大を目指します。

### 事業名・財源など

ウォーキング大会の開催	129万円
市の支出	111万円
参加者の負担	18万円
高齢者スポーツ環境の充実	80万円
市の支出	80万円
介護予防の取り組み	6万円
市の支出	4万円
国県等の補助	2万円

## 安全・安心まちづくり プロジェクト

東日本大震災や、台風、集中豪雨による自然災害など、昨年は、日常における備えの重要性を強く認識させられた年でした。

向けて実施設計を行います。さらに「本庁舎の整備」では、防災の拠点となるべき市役所本庁舎が震災で大きなダメージを受けたことから、市民の声を広く取り入れながら、整備に向けた検討を行います。

これを踏まえ、「防災対策事業」では、緊急時における体制の充実を図るほか、各避難所へ計画的に防災倉庫を設置し、必要な防災用備品や備蓄品を整備します。また「防災無線整備事業」では、必要

な情報を一斉に市民に伝達するため、防災行政無線の整備に



東日本大震災直後の市役所1階ロビー



地区防災訓練(大増地区)

### 事業名・財源など

防災対策事業	2308万円
市の支出	2308万円
防災無線整備事業(実施設計)	1368万円
市の支出	1368万円
(うち市債1190万円)	
※市債の一部は、後年に国から地方交付税で措置されます。	
本庁舎の整備	20万円
市の支出	20万円

景観向上・保全  
プロジェクト

本市は、筑波山系の茅葺民家や四季折々の風景などに加え、歴史的な建造物が多く残るなど、景観資源に恵まれています。これら美しい自然環境や歴史資源を活かし、個性的な都市景観を形成するため、そのあり方や目指す方向性を示す景観計画を策定します。



片野地区から筑波山を望む

また、田園・生活環境の保全、景観性の向上を図るため、里山や道路沿いの山林など、身近なみどりの整備を進めると

観光・交流活性化  
プロジェクト



森林の保全活動

土浦市新治地区と八郷地区を結ぶ朝日トンネルが今年度中に開通します。これにより、首都圏から八郷地区へのアクセスが格段に向上し、観光客の増加が期待できることから、これを地域経済の活性化につなげる施策を展開します。

まず、石岡市産のバラエティ豊かで良質な農産物等を材料に「いしおかオリジナルスイーツ」を創作し、市の魅力アップと、交流人口の拡大を目指します。



24年度開通予定の朝日トンネル（写真は貫通式）

共通テーマ  
協働のまちづくり

また、「観光施設の環境整備事業」として、「やさと温泉ゆりの郷」をリニューアルするなど、観光施設の整備を進めるとともに、地域の観光資源を活かした通年の周遊・交流メニューを充実させ、朝日トンネル開通に合わせた魅力アップを図ります。



リニューアル予定のやさと温泉ゆりの郷

これら9つのプロジェクトを推進していく上で、共通テーマとなるのが「協働のまちづくり」です。本市は、平成23年3月に「石岡市市民協働まちづくり推進への指針」を策定していますが、今回のプロジェクトへの取り組みを通じ、市民と行政がお互いの立場を理解し、尊重し、共通の目的に向かう『協働』関係の確立を目指します。

また、協働への意識を高めるため、市民や職員を対象に講演会、研修会を開催するほか、広報紙、ホームページで情報を発信し、相互理解と協働体制づくりに取り組みます。



事業名・財源など

景観計画の策定

身近なみどりの整備推進事業

2020万円

2020万円

農地・水保全管理事業

1123万円

1123万円

市の支出

事業名・財源など

いしおかの魅力創造事業

1132万円

1132万円

観光施設の環境整備事業

1億2930万円

1億2930万円

市の支出

事業名・財源など

協働まちづくりの推進事業

32万円

32万円

市の支出

予算総額288億8000万円

# 一般会計

「一般会計」とは、石岡市のような地方公共団体が一般行政を行う上で、主要な経費を賄う会計です。

今年度の予算総額が昨年度と比べて1億円の増となっているのは、八郷中学校建設事業（13億5918万2000円）、東小学校改築事業（1億9950万円）、石岡駅周辺整備事業（3億2076万7000円）などの建設事業を行うことが大きな要因です。

これらの支出を賄う収入は、大きく自主財源（市が自主的に収入できる財源。市税や使用料・手数料など）と依存財源（国や県の意思によって定められた額を交付される財源。地方交付税や国県支出金など）に分けられますが、今年度の自主財源の割合は40・2%で、昨年と比べて0・9ポイント減少しています。これは、景気の影響などによって市税収入などが減っていることが要因です。

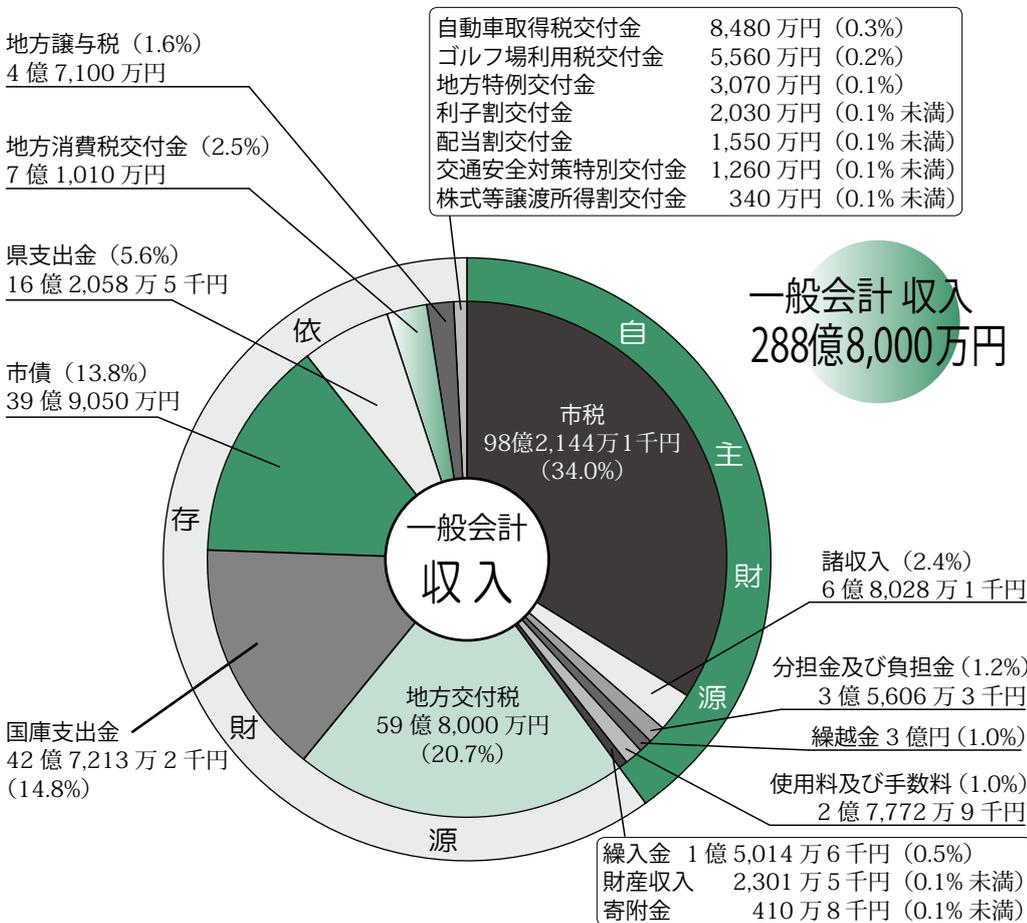
一方の依存財源では、地方交付税が1億6000万円増額になっているほか、市債（借入れ）が8億3240万円増えています。

今年度の一般会計予算は288億8000万円（前年度比1億円増）、11ある特別会計の総額は199億9828万9000円（前年度比9億1652万9000円増）で、全会計の総額は、488億7828万9000円となりました。

## 収入

## 性質別グラフ

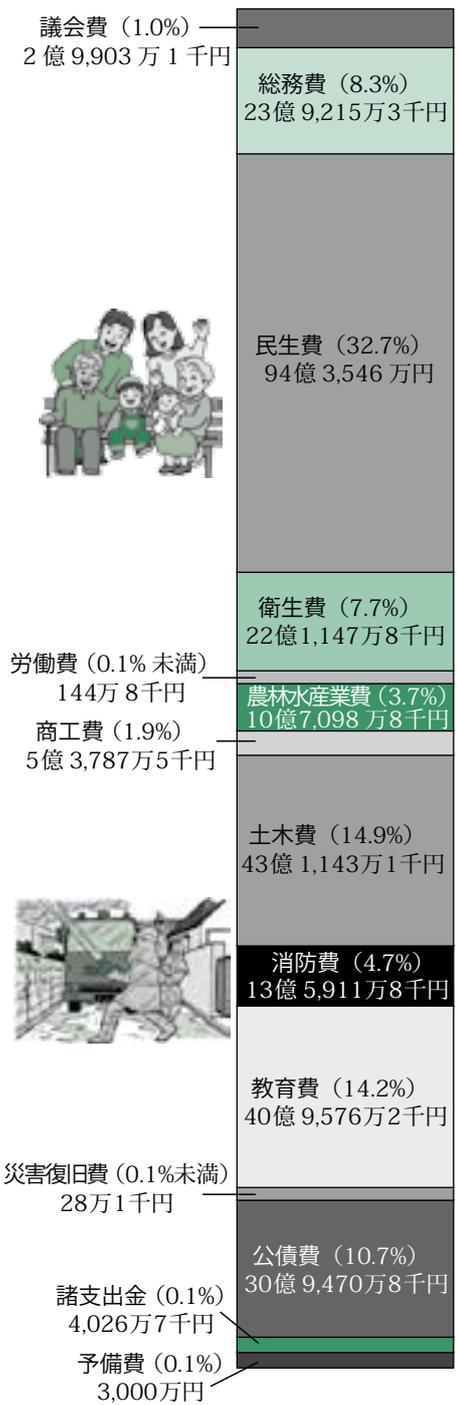
一般会計収入  
288億8,000万円



◆性質別分類◆ 市の経費を、経済的性質に着目して分類したもので、大きく分けて義務的経費・投資的経費・その他の経費に分類されます。さらにその中で、人件費・物件費・維持補修費・扶助費・普通建設事業費・公債費などに分類されます。  
**扶助費**…生活保護費、子ども手当、老人福祉費など  
**人件費**…職員の給与や共済費、議会議員の報酬など  
**物件費**…消費的性質を持つ経費で、委託料や賃借料など  
**普通建設事業費**…道路、学校、公園など各種公共施設の新増設事業など  
**補助費等**…各種団体への助成金や一部事務組合への負担金など

◆目的別分類◆ 経費を達成しようとする行政目的に応じて区分したものです。  
**総務費**…市組織の運営、徴税、戸籍、統計、選挙など  
**民生費**…児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など  
**衛生費**…母子保健、廃棄物処理、公害対策など  
**労働費**…労働者福祉・支援などの経費  
**農林水産業費**…農業振興、林業振興など  
**商工費**…商工業振興、観光振興など  
**土木費**…道路、公園、市営住宅などの整備や維持補修など  
**消防費**…火災、風水害、地震などから市民を守る経費  
**教育費**…学校教育、生涯学習、文化・スポーツ振興など  
**公債費**…借り入れた市債の元金の返済や利子の支払いなど

**支出 目的別グラフ**



「一般会計」の支出を、その性質ごとに区分すると、下のグラフのようになります。

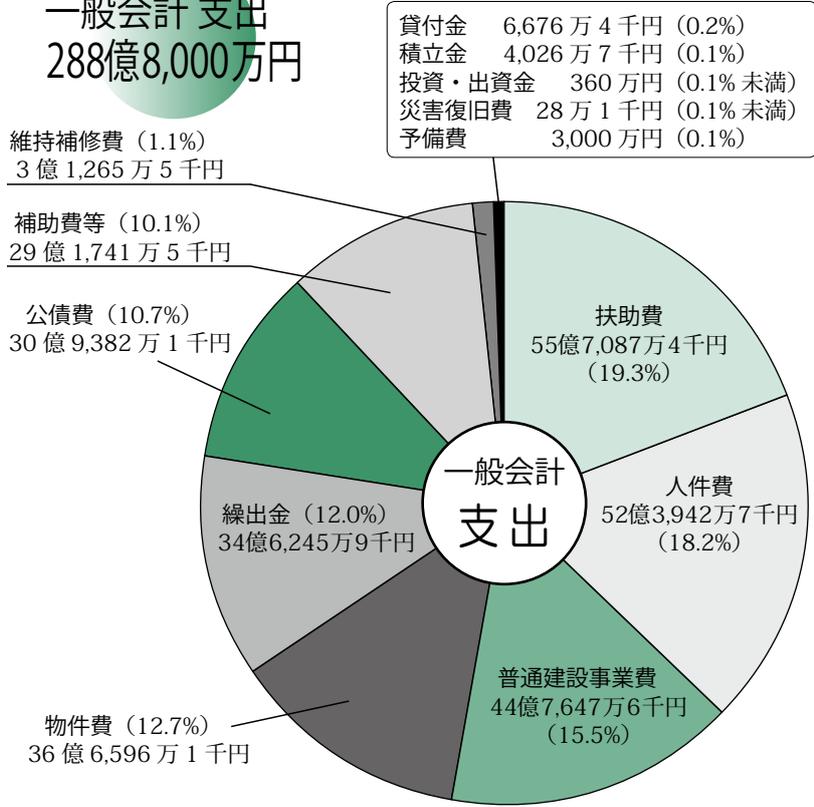
最も大きな割合を占めているのは「扶助費」ですが、昨年と比べて約2億6000万円（4.5%）減少しています。「扶助費」に含まれる生活保護費や障害者自立支援給付費などは増額になっているものの、国の制度の関係で、子ども手当が減ったことが大きな要因です。

「人件費」は、昨年度と比べて約1億6700万円（3.1%）の減となりました。これをさらに、合併直後の平成18年度当初と比較すると、約10億円の減となります。

「普通建設事業」は、右ページに挙げた事業や、ゆりの郷リニューアル工事（1億2715万円）などによって、昨年度より約8億1500万円（2.3%）の増になりました。

「公債費」は、昨年度、石岡小美玉スマートIC整備のために借りた市債を、当初の予定より早めに償還したため、昨年度より約9300万円（2.9%）の減となっています。

**一般会計支出 288億8,000万円**



支出 性質別グラフ

**用語の説明**

- ◆収入◆
  - 市税**…市民から納めていただく市の税金です。市民税や固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税などです。
  - 分担金及び負担金**…市特定の事業の財源として、その事業により利益を受ける個人や団体に支払っていただくものです。保育所運営負担金や児童クラブ保護者負担金などです。
  - 使用料及び手数料**…使用料は、市の施設などを使用・利用した方に支払っていただくもので、市営住宅や運動公園、公民館などの使用料です。
  - 寄附金**…ふるさとづくり寄附など、個人や団体からいただく寄附です。

- 繰入金**…一般会計、特別会計、基金などで行うお金の移動のことで、他の会計からの繰入れのほか、基金を取り崩して繰入れる場合もあります。
- 諸収入**…他の科目に含まれない収入をまとめたものです。市税等の延滞金などです。
- 地方交付税**…すべての地方公共団体が、一定水準のサービスを提供できるように国から交付される税です。
- 国庫支出金**…国が用途を特定して地方公共団体に交付する支出金です。
- 市債**…市が国や民間金融機関などから長期的に借り入れる資金のことで、市では、将来の財政負担が大きくなるような計画的に借り入れを行っています。

## その他の特別会計

### ●授産所特別会計

2,329万6千円 (△0.5%)

生活保護法に基づく保護施設・石岡市授産所の運営を行っています。

### ●簡易水道事業特別会計

2億3,205万8千円 (101%)

三村地区(一部を除く)へ、生活用水などの浄水を供給しています。

### ●駐車場特別会計

1,952万3千円 (△6.6%)

石岡駅周辺の駐車場の維持管理を行っています。

### ●農業集落排水事業特別会計

3億3,227万5千円 (△3.1%)

出し山、関川、東成井、石岡西部の各地区施設の維持管理や、恋瀬地区の整備事業などを行います。

### ●霊園事業特別会計

1,710万2千円 (△25.3%)

龍神山と半ノ木の市営霊園の維持管理を行っています。

### ●介護サービス事業特別会計

2億9,275万4千円 (0.1%)

特別養護老人ホーム「のぞみ」の運営に要する経費や、包括支援センターが行う介護予防支援に係る経費です。

### ●後期高齢者医療特別会計

6億5,033万6千円 (2.6%)

75歳以上の人と65歳以上で一定の障害がある人は、医療の給付を受けられます。制度の運営は茨城県後期高齢者医療広域連合が行い、市は保険料の徴収や窓口業務を行っています。

## 公営企業会計

### ●水道事業会計

8億2,546万8千円 (△4.0%)

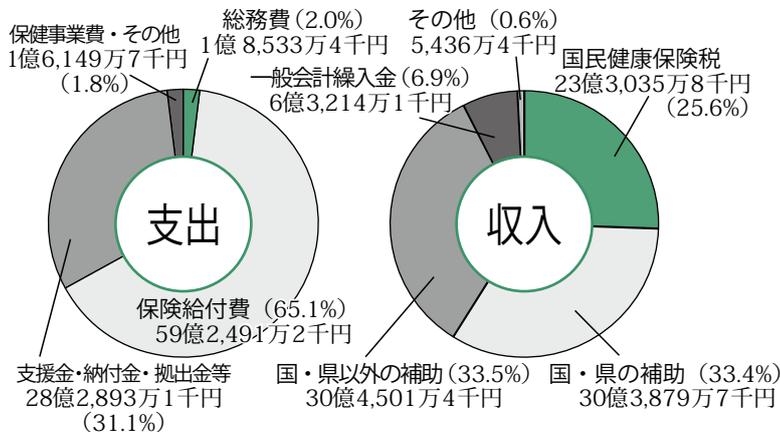
\*収益的・資本的支出の合計

八郷地区の水道水の供給、水道事業の計画と工事、水道料金の徴収などを行っています。

※( )内は、前年度比です。

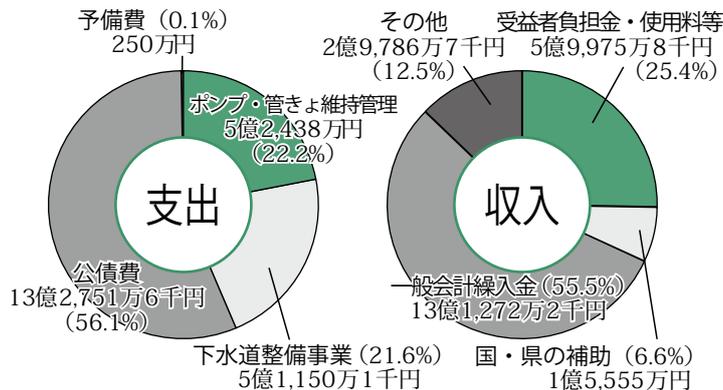
## 国民健康保険特別会計 91億67万4千円 (0.7%)

国民健康保険は、加入者からの保険税や国・県などからの補助によって、医療費への補助などを行う制度です。これにより、加入者の皆さんは安心して病院などの医療機関にかかることができます。



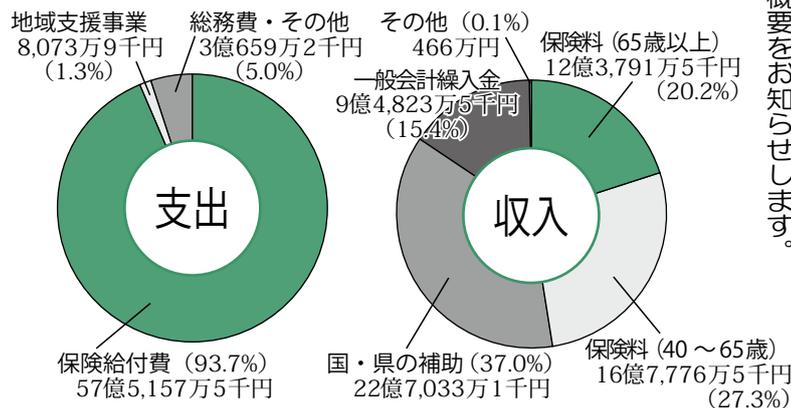
## 下水道事業特別会計 23億6,589万7千円 (△3.3%)

下水道事業は、整備区域内に土地を所有する人などの受益者負担金や実際に使用した人の使用料のほか、一般会計からの繰入金によって管理運営を行っています。



## 介護保険特別会計 61億3,890万6千円 (16.1%)

介護保険は、費用の半分を市と国・県、残りを被保険者が負担する仕組みになっています。市はこのお金を、被保険者が受けた介護や支援のサービスに応じ、その事業者へ支払っています。



# 特別会計

予算総額 199億9800万円

石岡市には、一般的なお金の出し入れを行う「一般会計」のほかに、11の「特別会計」があります。特別会計は、特定の人がお互いに助け合うことを目的とした事業(国民健康保険など)や限られた人たちが負担し、利益を受ける事業(農業

集落排水事業や下水道事業など)で、一般会計とは別に経理を行う必要があるため、設けられているものです。予算額の大きな3つの会計をグラフで、それ以外予算額と会計の概要をお知らせします。